

鎌倉合唱連盟

五十周年記念
特集号



鎌倉合唱連盟機関誌

特集号
2014.6 発行



鎌倉合唱連盟創立五十周年

お祝いのことば

鎌倉市長 松尾 崇

鎌倉合唱連盟が創立五十周年50周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

児島理事長をはじめ、貴連盟の皆さま方におかれましては、昭和四十年の創立以来、永きにわたり、合唱を通して本市の市民文化の向上に多大なるご尽力をいただいております。深く敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。

歌は、年齢や時代を超え、誰もが楽しめ幸になるものです。歌うことへの喜びを感じながら、生き生きと楽しんで歌われる皆様のお姿から、私たちは元気をもらい、また、ひとりひとりの歌声が重なり、調和したとき、心が和らぎ深い癒しを感じます。

貴連盟の皆様におかれましては、五十周年の節目を機に、これまで以上に研鑽され、歌う楽しさを多くの方々に伝えていただきますとともに、明日を担う子どもたちにも継承していただきたいと思えます。音楽を通して心とところが結ばれ、世代を超えた交流の輪がますます広がりますことを期待しております。

結びに、鎌倉合唱連盟のますますご発展と、皆様のご活躍、ご健勝を祈念いたしましてお祝いのごことばとさせていただきます。

鎌倉合唱連盟創立五十周年

を祝って

鎌倉市文化協会理事長 奴田 不二夫

鎌倉合唱連盟創立五十周年おめでとうございます。

鎌倉市文化協会の会員である鎌倉合唱連盟が五十周年を迎えるということは大変誇りに思っています。

五十年という歴史の中で、合唱音楽の実践を通じ鎌倉市内合唱団相互の親睦交流をはかり、合唱音楽の普及につとめ地域に密着した中広い年齢層の参加を目的とすることは鎌倉市の文化の向上に大きく貢献していると思えます。

数々の演奏会を開催し、特に市民文化祭の中心的な立場となっております。今後も会員のみなさまの努力で鎌倉合唱連盟が長く活動をつづけて行くことを期待します。

鎌倉合唱連盟創立五十周年

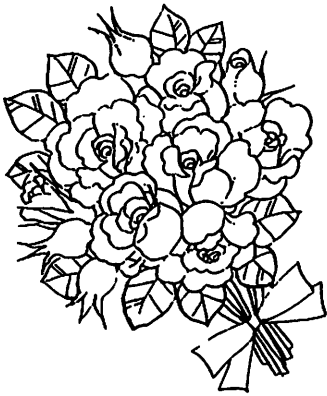
に寄せて

神奈川県合唱連盟理事長 松村 努

鎌倉合唱連盟創立五十周年、誠におめでとうございます。

鎌倉の合唱の歴史は、神奈川県はもとより日本全国でも古く、まさに、文化の都「鎌倉」が過去の歴史的建造物を守るだけでなく、新しい文化を造り出してきた証だと思えます。ここまで鎌倉の合唱を、そして合唱連盟を支えてこられた関係者の皆様に、感謝申し上げます。

私自身もグロリア少年合唱団に小学二年生で入団以来、鎌倉合唱連盟に育てて頂きました。特に理事長児島先生に長年に渡りご指導いただき、市の文化祭等で歌った思い出が蘇ります。材木座海岸に程近い、かつての鎌倉市公民館も懐かしいです。毎年歌っていた鎌倉市歌は今でも暗譜しています。その美しさは、他に例を見ないほどの名曲だと思えます。これからも神奈川県合唱文化の牽引者として鎌倉市合唱連盟が益々発展されます事をお祈り致します。



『五十年への思い』

鎌倉合唱連盟理事長 児島 百代

鎌倉合唱連盟創立五十周年を迎えました。故蓑田良子先生が合唱への熱い思いから、当時の合唱団に呼びかけて鎌倉合唱連盟を立ち上げられてから半世紀なのです。当時三十二才だった若輩の私も連盟のお手伝いをしながら合唱というものの勉強をさせていただきました。その後鎌倉でも合唱活動が盛んになり連盟加入団体も四十五団体という大きな組織に成長したのですがその頃体調を崩された蓑田先生から『創立三十五周年を期に理事長を児島さんに引き継いで欲しい』とのお言葉を受けたのです。ちょうど北鎌倉女子学園を定年退職したばかりで、鎌倉のために何かお役にたてたらと思っていましたので力不足ながらお引き受けして十五年になります。

副理事長はじめ理事各位のお力と、各合唱団の皆様のご温かなご協力で何とかこの創立五十周年を迎える事が出来ました。今後も連盟の更なる発展のために皆様のお力を結集しましょう。

これまで連盟の育成にご協力下さいました鎌倉市はじめ同じく五十周年を迎えられた文化協会の皆様に心から感謝申し上げます。

鎌倉合唱連盟創立五十周年

によせて

鎌倉合唱連盟副理事長 佐藤 ゆり

鎌倉合唱連盟定期演奏会が五十回を迎える。五十年間、合唱連盟を維持し活動を支えてくるには多くの方々の絶え間ないご尽力があったからに他ならない。まずその源を築かれた故蓑田良子名誉会長に心より敬意を表したい。また四十年、事務局長としてご奉仕いただいている澤百合子氏にも心から感謝申し上げます。合唱連盟定期演奏会や市民合唱祭の本番の日はもちろんのこと、そこに至るまでの細かい様々なことが、澤さんの頭の中にはしっかりと詰まっている。事務局の仕事を少しでも軽減しようと、マニュアルを作製したが、この作製自体が大変なことであった。澤さんは物事一つずつを長年の経験でさっさと対処していらつしやる。これを順番にして誰もが解るように紙に残すことは、恐ろしく煩雑な作業であった。でもこれを引き受けて一応マニュアルとして纏めてくださった理事もいらつしやう。この五十年を考える時、澤さんなくしてはあり得ない。また交代しながらそれぞれに任についてくださった歴代の理事の方々の存在も忘れてはならない。昨今、世相は自分の権利や要求ばかり主張しているように感じる。そのような中、合唱連盟は、合唱が好きだからその為に必要なことはお役に立つとうという奉仕の精神で成り立っている。裏方の仕事は大変ではあるが、積極的に理事や事務局補佐の人材が出て鎌倉合唱連盟の次の五十年を紡いでいっていただきたいと思つう。

創立五十周年を

新たな飛躍の年に

鎌倉市合唱連盟副理事長 丸山 孝之

五十年前わずか十六団体で発足した合唱連盟が半世紀を経て加盟団体五十二、会員数千四百五十余名を擁するまでに発展いたしました。これも偏に諸先輩のご努力の賜物と感謝申し上げます。

演奏会活動では、創立以来一度も欠かさず実施してきた定期演奏会は今年五十回目、連盟創立より六年も前から有志の参加で実施されていた市民合唱祭は五十六回目を迎えます。

創立五十周年を記念する第五十回定期演奏会は、本年七月十三日に鎌倉芸術館大ホールで鎌倉交響楽団のご協力を得て記念演奏会として開催いたします。

一般市民の方々の多数のご来場をお待ちしております。

合唱連盟の上部団体である鎌倉市文化協会も今年満五十周年を迎えます。文化協会と共に発展を遂げてきた合唱連盟は協会の所属する二十一団体と共に鎌倉市の文化活動に永年巨り貢献してきたものと自負する次第です。

五十周年を迎えるに当たり、合唱界の更なる発展と、連盟の新たな飛躍の年となるよう祈念いたします。

鎌倉合唱連盟 結成当初よりの団

鎌倉合唱連盟

五十周年に寄せて

クール鎌倉 長畑 妙

五十周年おめでとうでございます。創立当初より定期演奏会も合唱練習も一回も休むことなく出演致して参りました。私も九十三才を迎え感無量の想いでございます。

第一小学校の向いの公民館で、夏暑く、冬寒い音響の悪い体育館から鎌倉駅前の中央公民館に移り、ステキなホールとピアノを調達していただきたく公民館運営審議委員として努力致しましたが実現には時間がかかりました。

駅前の中央公民館で初めての合唱祭では高名な音楽家やお客様の前で、出演者は気を遣い冷汗をかいたのをなつかしく思い出します。

鎌倉芸術館も早いもので開館二十年との事、芸術館で合唱祭が開催されてからは、益々充実し盛大になりました。これも合唱連盟の理事の方々及び会員の皆様の御尽力のおかげでございます。ますますのご隆盛を祈念致しております。

鎌倉合唱連盟

五十周年に寄せて

鎌倉女声コール 山内 英子

「合唱の魅力は、心の中で仲間と手が繋がること」。池辺晋一郎先生のお話でした。将に、私どもは、この五十三年間多くの仲間達と手を繋いで歩んで参りました。

昭和三十五年、聖心の園幼稚園母達のコーラスが、蓑田先生のご指導で発足致しました。以来四十年の間に、鎌倉フラウエンコール、鎌倉女声合唱団(せせらぎコールと合併)そして現在の鎌倉女声コールと改名致しましたが、蓑田先生ご存命の四十年間は毎年定期演奏会を続けて参りました。その間、先生は連盟の重責を担われ、厳しく細やかなご指導では「合唱はミサ曲に始まりミサ曲に終る」を軸に、ポリフォニー、古今東西の名曲数百曲の中の、合唱の真髄を賜り、私どもの「人生の光」となりました。九十年代の南仏、北欧の演奏旅行では、教会音楽の真の響き、歌を通しての国際交流と、貴重な体験に恵まれました。

近年いささかぼんやりして参りました私どもは、鈴木昌子先生の根気強く、お心優しいご指導の元、伴奏の先生方や、皆々様に感謝申

し上げつつ、茜色の鎌倉の夕陽に包まれて、歌い続けています。

昔を今に

三菱電機鎌菱会コーラス部

三菱鎌菱会は今年、創立五十二年です。連盟よりも古いことになりました。加盟したのは、おそらく連盟の最初期で、当時、秋しかなかった合唱祭には、男声・女声のそれぞれが別々に参加していました。合唱祭は、平日夜の開催で、場所は一の鳥居際にあつた(先々代の)中央公民館でした。出番が終つてから、若宮大路の峰本の二階で、鍋焼きうどんを食べるのが、鎌菱会の晩秋の風物詩でした。団員数が百名に及ぶか、という職場合唱の黄金時代でした。

職場合唱はその後、全国的に急速に衰退し、鎌菱会も例外ではありませんでした。しかし、一時期連盟に対して「死んだふり」をしていたのは、衰退が原因ではありません。一部の児童合唱団の、合唱祭でのあまりの傍若無人ぶりに辟易しての措置でした。

鎌菱会が合唱祭に復帰したのは、連盟の理事だった林十平先輩の尽力によるところが大きい。彼は蓑田理事長の信任も厚かつた。かつ、市内の職場合唱団Ⅱ東レ基

礎研、野村総研、三菱プレシジョンに働きかけ、鎌倉コールソサエティーを編成しました。今は、この三団体の消息も聞こえてきません。

さて、鎌菱会は去年、劇的に生まれ変わりました。一昨年までは合唱祭に出るのに、現役の昼休み組だけでは間に合わず、OB・OG・家族に助けてもらつていました。それがなんと、今は逆転し、現役組が社外組にハツパをかける図式になっています。数十年に及ぶ「低空飛行」に耐えに耐えた身にとつては夢のような日々が、また訪れました。ありがたいことです。

鎌倉合唱連盟

創立五十周年を祝す

カトリック雪の下教会聖歌隊

戦後、さして楽しみのない時期に、あちらこちらにコーラスのグループができた。私も、ある音楽好きな方のお宅に通つた。資料がないので合唱団の名前さえ定かではない。当然の成行だろうが、その内に、だれかが間に立って、合同の合唱の集まりがぼつぼつ行なわれるようになった。場所の記憶もないが、まだ存在していた市民座や旧い公民館、第一小学校の講

堂のときもあつたと思う。

私たちの聖歌隊は、これも確言できないが、昭和二十年代の後半には存在していたと思う。ただ聖歌隊は、教会に属し、日曜や祝日のミサで歌うという任務があつたので、他の合唱団と少し違う性格をもつていた。それだけに他の合唱団と一緒に歌を楽しむという機会は貴重な体験だつた。

鎌倉音楽連盟結成当時、一々、お名前は挙げないが、音楽専門の先生方の奮闘ぶりが記憶に残っている。大きな変化もあつた。最近、ラテン語でポリフォニーや他の伝統的聖歌を発表する合唱団が急激に増えてきている。いずれにせよ、聖歌隊をお仲間に入れてくださり感謝しています。合唱連盟五十周年を心からお祝いします。

鎌倉合唱連盟

五十周年に寄せて

グロリア少年合唱団指導者 陣内 俊生

「合唱度鎌倉市合唱連盟が五十周年を迎え、私共グロリア少年合唱団は所属する団体として大変誇らしく思います。私共は一九五九年設立ですので創団五十五年となります。鎌倉の地で、合唱連盟の歴史と共に私共の歩みもあつたと

言えます。かつては海の近くの中央公民館分館での合唱祭で、鎌倉市歌をみなさまと共に子どもたち歌わせていただいたと聞いております。当時と比べると子どもたちの体格が格段と大きくなり、変声期が早くなったことにより、二年ほど小さい男の子から入団できるようにになりました。しかしそのこと以外は、教育方針も、毎年歌い継いでいる曲もあまり変化のない私共ですが、歴史ある連盟の一員として今後も合唱を通じて健全なる精神の宿る青少年の育成に力を注いでまいりたいと思っております。

今回の記念演奏会では、他団体のみなさまと一緒にヘンデルのメサイアを演奏できる貴重な機会をいただき、大変感謝しております。今後六十周年、七十周年と合唱連盟のもと、グロリア少年合唱団も歌い続けていきたいと思っております。

私達も同じ年

由比コーラス 津々良悦子

この度合唱連盟が五十周年を迎える事が出来ます事は「おめでとうございます。」と心からお祝申し上げます。これ迄はどんなにか

遠い道のりだつた事でしよう。創立しました頃は、まだ合唱団も少なく手さぐりの状態だつたのではないかとお察し致します。きつと何度も何度もお話し合いをし、足も運んでご苦労並大抵ではなかつたかと思ひます。私達の由比コーラスも今年7月5日芸術館で五十周年定期演奏会を催します。お陰様で合唱連盟と同じ年を重ねて参りました。半世紀。合唱連盟参加の合唱団は市民合唱祭など市民のお祭りの一端をにない、賑やかにオーブニングに参加したり、舞台を楽しんだり市民と共に歩んで参りました。今連盟参加の合唱団は年々多くなり創立当時には考えられない位の発展に繋がりました。これもひとえに理事長様始め事務局に永い事たずさわつて下さつた方々のお陰と感謝致しております。連盟に参加させて頂いたばかりに思ひます。これからも鎌倉の文化、芸術、歌を囲んだ人の和が豊かになりますます広がりますますに……。

鎌倉合唱連盟

五十周年に寄せて

鎌倉コール 松尾 達彦

一九六七年に合唱連盟に加盟した当団は毎年、定演や合唱祭に参

加してきました。一回ごとの積み重ねが長い歴史を作ってきたことをともに喜びたいと思ひます。運営や事務局の皆様のご尽力に感謝しています。

当団は発足から六十年を越え、一貫して古典宗教曲を専門に歌っています。それは特殊なレパートリーということではなく西洋音楽の基礎という位置づけです。したがって他団との掛け持ちや市外の方も多いのが特徴です。練習は月に二回、また一曲に時間をかけてさらうことをモットーにしています。それがアマチュアの良さだと思ひます。団員は年齢も経験も様々です。

連盟理事のつぶやき

歌の力と願い

阿部 栄子

鎌倉合唱連盟は発足以来五十年の歳月が経過しました。赤ちゃんが誕生し、成長して今や五十歳。

音楽を歌を愛する住民の多い鎌倉、その中の千五百人もの人達が団体を通して、合唱連盟に加盟し共に発表の場を作り、営々と運営を続けてきたことを思うと、先輩諸氏のご努力と、この五十周年と

いう節目に及ばずながら理事を務めさせて頂いていることに感謝の念を強くしています。

大きな事件、痛ましい自然災害が起こる度に、音楽の持つ力がクローズアップされます。ニューヨークの9・11の想像のつかないテロ事件の時も自然に歌が起こり、大きな悲しみの中にも互いを癒すことが出来ました。3・11の大災害でも歌のリレー「花」や様々な歌が打ちひしがれた被災者の大きな支えとなりました。音楽、歌は国境を越えて世界の人々の共通語ともなります。平和を愛する人々は歌を愛します。歌い続けられる平和な時代が続くことを願ってやみません。

鎌倉合唱連盟

五十周年を祝って

遠藤 恵紀

鎌倉合唱連盟創立五十周年、おめでとうございませう。五十年と言えは半世紀、このような永い間、鎌倉市の合唱界の発展のために多大なるご尽力を賜った多くの関係者の方々に深く感謝いたすと共に、今理事の一人として活動の一端に参加させて頂いていただいていることを光栄に思っております。これから一層精進して、連盟のみならず

加盟団体の皆様のお役に立てるよう碎身の努力をしてみたいです。

私は二十数年前に北陸から鎌倉市に引越してきました。そして十四年前、サラリーマンとしての定年を迎え、第二の人生の楽しみとして、永い間やりたいたいと思っていた歌を歌うことを始めようと思いました。それですぐ今所属している「混声合唱団ムジカおさらぎ」にお世話になり歌を歌う喜びを知りました。合唱連盟主催の演奏会に参加して舞台上立つて人前で歌う感動を味わうことが出来ました。これは合唱指導の先生方や、合唱連盟のお陰です。今は三つもの合唱団に所属し、第二の人生を存分に謳歌しています。

これからも鎌倉合唱連盟および鎌倉市の合唱界の益々の発展を祈っています。

合唱連盟理事を経験して

熊谷 幸子

一月の総会時に児島理事長から私と一緒にやって下さいとのことのお話で、その場で承認され、二十数年過ぎてしまいました。各月の理事会の他に、定演、市民合唱祭、講演等、合唱連盟として、皆様の興味のある事、新しい発見をして

頂ける演題を検討して、より良い方向に進めていると思えます。歌を通して健康や生きがいになれませう様に私達は微力ながらお手伝いさせて頂いております。今年五十年を迎えるにあたり、すばらしい指導者の先生方のお顔が浮かんで来ます。ここ鎌倉の合唱団は、レベルが高いとの評判です。歌は世界をつなげ、言葉はいりません。今後共、発展していきますようにお願い申し上げます。

鎌倉合唱連盟創立

五十周年に思うこと

後藤 公子

私事ですが、つい最近、10代の頃のように歌詞を書き写し何度も聴いて覚えなくなる歌に出会いました。歌は軽々とジャンルを越えて心に届き、日常の悩みや不安を少しだけ消して、喜びを与えてくれます。そのような歌を人生の糧として仲間を作り、発表の場を實現させてきたのが、私達の鎌倉合唱連盟です。図らずも、連盟の仕事させて頂いていますが、2年間の経験の中で感じたことは「鎌倉合唱連盟は、善意溢れる方々の献身的な支えで成立している」ということでした。また、その活動が五十年も続いている歴史は私達

の誇りです。重ねて、先輩方の永年のご努力に敬服するばかりです。五十年前の風景はセピア色でも人々の思いは熱いまま私達に伝わっています。かつての中央公民館分館でも、近年の立派な芸術館でも歌う気持は「ひとつ」です。連盟創立五十年を過ぎて、更なる充実した一歩のために、歌をうたえる平和な暮しが続くことを願って、みんなで力を出し合って進んで参りましょう。鎌倉に集う、歌う仲間の貴重な宝物を未来へ渡すために。

合唱連盟五十周年に向けて

鈴木 恵子

この半世紀で世の中は目まぐるしく変わりましたが、合唱連盟発足当時の精神「鎌倉の町を美しいハーモニーでみたくしましょう」という思いは、今でも加盟52団体の中に、美しいハーモニーとして息づいていると思えます。

私も湘南ジュニアコーラスは「明るく、さわやかな歌声」をモットーに、青少年期の豊かな心の育成と合唱音楽の普及に努めてまいりました。最盛期には200人近い団員がおりましたが、他の児童合唱団同様に年々減少し、活動も低迷してまいりました。仲間の合唱

鎌倉合唱連盟創立五十周年
記念合同演奏のあらまし

合唱連盟創立五十周年記念行事として、第五十回定期演奏会に引き続き個人参加の記念合同演奏を、鎌倉交響楽団のご協力を得て実施いたしますので、その概要をお知らせします。

開催日 平成二十六年七月十三日
会場 鎌倉芸術館大ホール
時間 第一部 第五十回定期演奏会
十二時開宴
第二部 記念合同演奏会

第一部に引き続き開演
プログラム

- 第一ステージ 女声合唱
三善晃編曲 唱歌の四季
- 第二ステージ 男性合唱
ロシア民謡集
- 第三ステージ ジュニア合唱
ヘンデル作曲メサイアより
- 第四ステージ 混声合唱
ハイドン作曲四季より
- 最終ステージ 全員合唱
合唱連盟歌 心はひとつ

合唱連盟会員の皆様はもとより、一般市民の方々も多数ご来場下さいますようお願い申し上げます。

二十周年記念コンサート

女声合唱団「松」 稲永 律子

一月十八日(土) 鎌倉芸術館大ホールにて「松」創団二十周年記念コンサートが開催されました。鈴木輝昭作曲「昨日の時計」、河本芳子編曲「懐かしの山口百恵名曲選」、女声合唱とピアノのための「近代日本名歌抄」、無伴奏女声合唱による日本名歌集「ノスタルジア」を演奏させて頂きました。新春の慌ただしさも何のその、団員一同この記念すべきステージに立てる幸せをかみしめ、こころで根気強く叱咤激励くださいました先生方に改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。

二十年の歴史の中で「松」は良くも悪くも素直で品が良い合唱団と評されてきました。しかし昨年の私達は少し違いました。合唱コンクール出場を契機に、受け身の殻を破り「自立」という言葉を肝に命じ練習に取り組みました。「指揮を見るな！自分達で音楽を創れ！」と何度も促されて…。その甲斐あってコンクールの結果と共に進化した「松」との言葉を頂き、身の引き締まる思いです。これからも更なる進化を目指し、楽しく歌い続けて参りたいと思います。



20周年記念コンサート 芸術館大ホール

「気楽に暖かな雰囲気
の中で楽しく歌おう！」
をモットーに

大船混声合唱団代表 松尾 治

二〇一三年九月二十二日大船混声合唱団（通称 船混）は、第十四回定期演奏会を創立二十五周年記念演奏会として開催しました。

船混は、鎌倉市主催による混声合唱教室終了後、教室のメンバーが合唱団結成を希望し、一九八八年五月、児島先生を指揮者にお迎えして「大船混声合唱団」として発足しました。

創立以来、一年半毎の定期演奏会では、ヘンデル、ハイドン、モーツァルト等の古典の大曲から、ブラームス、フォーレなどのロマン派作品まで、さらにはオペラ、民謡、日本歌曲、ミュージカル等で楽しんできました。

二十五周年記念演奏会では、混声合唱団鎌倉コールの賛助出演をいただき、十周年記念演奏会でもとりあげた、混声合唱の定番ともいえるモーツァルトの「レクイエム」を演奏しました。

連盟が創立五十周年に対して、船混はまだ半分の年齢です。創立以来お力添えをいただいた方々への深い感謝と共に、今後三十周年、四十周年と元気に歌っていきたく願っております。



創立二十五周年記念演奏会

平成二十六年 事業計画について

平成二十六年年度年次総会が一月二十九日に開催され、平成二十五年度の事業報告、会計報告及び平成二十六年年度の事業計画、会計予算が全員賛成で可決されました。本号ではその内の平成二十六年年度事業計画の一部をお知らせします。各団の活動計画の参考になれば幸いです。

四月二十三日（水）第五十回定期演奏会の為の代表者

会、出演順の決定他

六月四日（水）第五十回定期演奏

会の準備会、参加費納

入、機関紙「えっせん

す」第三十号（五十周

年記念特集号）発行予

定

七月十三日（日）第五十回定期演

奏会並びに創立五十周

年記念演奏会を開催

鎌倉芸術館大ホール

九月中旬 第五十六回市民合唱祭

の代表者会、出演順の

決定

十月中旬 第五十六回市民合唱祭

の為の準備会、参加費

納入

十一月二日(日) 第五十六回鎌倉

市民合唱祭

芸術館大ホール

二〇一三年十二月末現在の加盟

団体数は五十二団体、会員総数は

一千四百五十五名でした。

加盟各団の活動状況

平成二十六年六月から二十七年

六月までの各合唱団の演奏会の予

定或いは各種イベントへの参加予

定の活動計画をご紹介します。

今後の各団の活動計画の参考と

して、又他の合唱団の演奏会鑑賞

の為の資料としてご利用下さい。

◇平成二十六年

由比コーラス

七月五日

鎌倉芸術館大ホール

五十周年記念演奏会

ジュニア合唱団なぎさ道

八月十日

鎌倉芸術館小ホール

第十一回定期演奏会

十一月二十九日

鎌倉芸術館大ホール

白いうた青いうたフェスティ

バルin鎌倉

北鎌倉女声合唱団

九月十三日

鎌倉学習センターホール

第二十一回定期演奏会

鎌倉女声コー

十月

鎌倉学習センターホール

第五回定期演奏会

クール・ドウセール

十一月

鎌倉学習センターホール

ピアノチェレ・ムジカ主催

"Musik Konzert"

クール百音

十二月五日

みなとみらいホール

第十回定期演奏会

六月十八日

鎌倉生涯学習センター

コーロ・ピッコロ

十二月

鎌倉プライエムきしろ

老人ホーム慰問コンサート

グロリア少年合唱団

十二月二十三日

カトリック雪ノ下教会

第二十六回「メサイア」コン

サート

大船混声合唱団

十五年四月十九日

鎌倉芸術館大ホール

第十五回定期演奏会

編集後記

えっせんす鎌倉合唱連盟五十周年記念三十号を、お送りいたします。今回は五十周年記念という事で、連盟創立からの合唱団、比較的それに近い合唱団の方々に、寄稿をお願いしました。五十年と一口に言っても、存続するという事は大変な事だったと思います。本当に歌う事が好きで、仲間にも恵まれなければ仲々出来る事ではありません。最初は十七団体だった合唱団も今は五十団体を越える大所帯になりました。これからも増々、増える様な気がします。老若男女音楽に携わる、携われる環境にいられるのは本当に幸せな事だと思います。これからは平和な世の中であってほしいものです。

細村 和子

えっせんす 第三十号
創立五十周年記念特集号
二〇一四年六月 発行
発行責任者
鎌倉合唱連盟理事長
児島 百代

印刷所 F・フタバヤ

鎌倉合唱連盟規約

第一章 総則

第一条 本連盟は鎌倉合唱連盟と称す。

第二条 本連盟は鎌倉市文化協会に加盟する。

第二章 目的および事業

第三条 本連盟は合唱音楽の実践を通じ、鎌倉市内合唱団体相互の親睦交流、及び合唱音楽の普及発展を図ることを目的とする。

第四章

本連盟は前条の目的を達する為、次の事業を行う。
(一)定期演奏会の主催
(二)市民合唱祭の主催
(三)連盟機関誌の発行
(四)その他目的達成に適當と認められた事業

第三章 会員

第五条 本連盟は、鎌倉市内を主たる活動の場とする非職業の合唱団を会員として構成する。

第六章

新たに加盟を希望する団体は所定の加盟申込書を理事会に提出し、その承認を受けなければならない。

第七章

会員は年会費を納入しなければならない。年会費の金額は構成人員に関係なく一団体当たり一律とし、別途定める。
二、定期演奏会、市民合唱祭に出演する会員は、年会

第八章

費とは別に参加費を納入する。
会員は次の事由によってその資格を喪失する。
(一)退会
(二)除名

第九章

退会しようとする会員は、所定の退会届を提出し、会費その他の未納金がある場合にはこれを清算しなければならない。
会員であつて次の事由のいずれかに該当するとき、これを除名することができ、

第十章

本連盟の規約に違反し名替を棄損したとき
(一)本連盟の運営に支障をきたす行為があつたとき
(二)本連盟の規約に違反し名替を棄損したとき
(三)本連盟の規約に違反し名替を棄損したとき
(四)本連盟の規約に違反し名替を棄損したとき

第四章 役員及び事務局

本連盟に次の役員を置く。

十一、理事 一名
十二、副理事長 二名
十三、理事 若干名
十四、監事 一名

理事及び監事は、会員の中から総会でこれを選出する。

十二、副理事長は理事の互選とする。

十三、理事長は理事会で推薦し、総会で承認を得る。

十三、副理事長は理事長を補佐し、理事長に支障がある時はこれを代行する。
副理事長は各事業を分担し、企画運営にあたる。
理事は本連盟の運営を審議し執行する。
四、監事は、本連盟の会計監査を行う。

第十五条 理事及び監事の任期は二年とし、再任を妨げない。ただし、補欠又は増員により選任された理事及び監事の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。前任者又は任期満了後にあつても、後任者が就任するまでの間なおその職務を行うものとする。

第五章 会議

第十四条

監事は、本連盟の会計監査を行う。

第十五条

理事及び監事の任期は二年とし、再任を妨げない。ただし、補欠又は増員により選任された理事及び監事の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。前任者又は任期満了後にあつても、後任者が就任するまでの間なおその職務を行うものとする。

第十六条

本連盟の業務を円滑に処理するために事務局を置く。

第十七条

会議を分けて理事会及び総会とする。

第十八条

理事会は理事長、副理事長、理事で組織し、随時理事長がこれを招集する。理事会は理事の三分の二以上の出席により成立し、出席理事の過半数の賛成により議決する。賛否同数の場合は議長が決する。

第十九条

総会は毎年一回、理事長がこれを招集する。会員は二分の一以上の要求又は理事会の決議があつたとき理事長は臨時総会を招集する。

第二十条

総会は毎年の一回、理事長がこれを招集する。会員は二分の一以上の要求又は理事会の決議があつたとき理事長は臨時総会を招集する。

上の出席により成立し、出席会員の過半数の賛成により議決する。なお、出席者及び議決数には委任状によるものを含む。
三、総会の議長は、その都度会員の中から選出する。理事会及び総会に付議する事項は次のとおりとする。

第六章 会計

第二十一条

本連盟の運営基金は年会費、補助金、その他の収入を以つてこれに充てる。

第二十二条

理事長は会計担当理事に命じて毎会計年度当初に予算を作成し、年度終了後直ちに決算を行わなければならない。

第二十三条

本連盟の会計年度は毎年一月一日に始まり同年十二月三十一日に終わる。

第七章 附則

第二十四条

本規約の施行に必要な細則は別に理事会でこれを定める。

第二十五条

この規約は平成十四年十二月三日から施行する。

第二十六条

この規約は平成十四年十二月三日から施行する。

鎌倉合唱連盟 50 年の歩み

年	月	行 事
1965	3	鎌倉合唱連盟結成（16 団体加盟）
	5	鎌倉合唱連盟結成記念第 1 回演奏会（参加 16 団体、友情出演湘南合唱連盟他）
	11	第 7 回市民合唱祭（講師：奥田良三）（参加 13 団体）
1966	7	鎌倉合唱連盟第 2 回定期演奏会（講師：磯部倅）（参加団体不明）
	11	第 8 回鎌倉市民合唱祭（講師：大中恩）（参加 16 団体） 以後市民合唱祭として毎年開催、2014 年は第 56 回目となる
1968	6	鎌倉合唱連盟第 4 回定期演奏会（講師：前田幸一郎）（参加 14 団体）
	11	第 10 回市民合唱祭（講師：山根一夫）（参加 13 団体）
1969	7	鎌倉合唱連盟第 5 回定期演奏会（参加 11 団体）
1974	7	鎌倉合唱連盟第 10 回定期演奏会（参加 14 団体）
1979	7	鎌倉合唱連盟第 15 回定期演奏会（参加 18 団体）
1982	7	鎌倉合唱連盟第 18 回定期演奏会（参加 19 団体）
		鎌倉市中央公民館開館きねん合唱祭（参加 11 団体）
1984	7	鎌倉合唱連盟第 20 回定期演奏会（参加 22 団体）
1985	9	広報誌「えっせんす」創刊号発刊 以後毎年年 1 回発刊
1986	7	鎌倉合唱連盟第 22 回定期演奏会（参加 23 団体）
	10	第 1 回ジュニア コーラル フェスティバル開催 以後 1993 年まで継続
	12	メサイア演奏会（タッチ・ザ・クラシック）鎌倉合唱連盟合唱団 鎌倉室内管弦楽団
1989	7	鎌倉合唱連盟第 25 回定期演奏会（参加 21 団体）合唱連盟歌「心はひとつ」発表
	11	第 31 回市民文化祭（参加 22 団体）市政 50 周年記念行事として参加
1991	7	鎌倉合唱連盟第 27 回定期演奏会（参加 21 団体）
	8	合唱連盟主催によるエストニア フィルハーモニー室内合唱団演奏会開催
1993	7	鎌倉合唱連盟第 29 回定期演奏会（参加 15 団体）
	12	鎌倉芸術館開館記念演奏会 女声合同演奏、男声グリークラブ結成第 1 回演奏
1994	7	鎌倉合唱連盟第 30 回定期演奏会（参加 21 団体）以後会場を芸術館に変更
1996	7	鎌倉合唱連盟第 32 回定期演奏会（参加 28 団体）
		合唱連盟主催によりエストニア少女合唱団公演開催
1997	8	全日本ジュニアコーラス フェスティバル（第 11 回少年少女合唱祭全国大会）
1998	3	チェコ・オンドラシェク少年少女合唱団演奏会（鎌倉芸術館大ホール）
	7	鎌倉合唱連盟第 34 回定期演奏会（参加 25 団体）
	11	第 40 回市民合唱祭（参加 33 団体）
1999	7	鎌倉合唱連盟第 35 回定期演奏会（参加 25 団体）
		合唱連盟結成 35 周年記念演奏として 5 グループによる記念演奏実施
2002	7	鎌倉合唱連盟第 38 回定期演奏会（参加 23 団体）
	10	関東合唱コンクール（芸術館大ホール）連盟で支援
	11	第 44 回市民合唱祭（参加 39 団体）鎌倉グリークラブ第 10 回出演
2004	7	鎌倉合唱連盟第 40 回定期演奏会（参加 21 団体）
		40 周年記念合同演奏を鎌倉交響楽団の参加を得て実施
2006	3	鎌倉合唱連盟初代理事長 蓑田良子（名誉会長）逝去
	6	鎌倉達賞連盟第 42 回定期演奏会（参加 28 団体） 蓑田前理事長追悼演奏としてフォーレ レクイエムを有志により演奏
2008	3	合唱連盟主催により松原混声合唱団演奏会を開催
	11	第 50 回市民合唱祭（参加 41 団体）鎌倉グリークラブ最終出演（第 15 回）
2009	5	合唱連盟主催音楽講座開催（講師：金沢正剛）
	7	鎌倉合唱連盟第 45 回定期演奏会（参加 28 団体）（講師：新実徳英）
2010	5	合唱連盟主催音楽講座第 2 回開催（講師：金沢正剛）
2011	5	鎌倉合唱連盟ホームページ開設
2014	7	鎌倉合唱連盟第 50 回定期演奏会（参加 22 団体）
		50 周年記念演奏会として鎌倉交響楽団の参加を得て 4 グループで合同演奏